

2019. 11. 1

畑 啓之

台風19号の影響で中止となった技術士一次試験の再テストが行われることに

以下の通り、日本技術士会からの発表があった。結果的には、正規の試験を受けるよりも受験準備に当てる期間が長くなることから、合格率も高くなることが予想される。逆に、合格率をある範囲に収めるために日本技術士会が問題を若干難しくすることも考えられるが、おそらくはそのようなことはないだろう。

ピンチがチャンスに転じたとして、是非とも合格を勝ち取られることを願うものである。

令和元年度技術士第一次試験の再試験について（第1報）

[https://www.engineer.or.jp/c\\_topics/006/006853.html](https://www.engineer.or.jp/c_topics/006/006853.html)

令和元年度技術士第一次試験につきましては、台風19号の影響による交通機関の計画運休及び受験者の皆様の安全確保等の観点から、東京都及び神奈川県の実験会場における試験の中止、また、宮城県、新潟県及び石川県の試験開始時間1時間繰り下げの措置を講じて実施いたしました。一部受験者の方々に対してご心配、ご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

本日（11月1日）、文部科学省の科学技術・学術審議会技術士分科会試験部会が開催され、本試験の対応策が審議されました。その結果、来る令和2年3月7日（土）に東京都及び神奈川県において再試験を実施することが了承され、併せて、再試験の受験を認める者の範囲及び再試験の合格者で令和2年度技術士第二次試験の受験資格を有する者に対しての第二次試験受験申込期間の特例措置を講じることについても了承されました。

この審議結果に基づき、指定試験機関である日本技術士会は、下記のとおり再試験を実施

再試験日時 令和2年3月7日（土） 10時30分～16時00分

再試験を受験できる方(受験資格) 1. 令和元年度技術士第一次試験において、試験地が東京都又は神奈川県であった者。

2. 令和元年度技術士第一次試験において、試験地が宮城県又は新潟県であって受験しなかった者。

3. 令和元年度技術士第一次試験において、試験地が東京都、神奈川県、宮城県及び新潟県以外であって受験しなかった者のうち、台風19号の影響に伴い、試験当日又は試験前日に、各人の居所から鉄道、バス等による試験地への移動が客観的に不可能であったと日本技術士会が認めた者。